

令和５年度 第２回 守山市男女共同参画審議会 会議録

日 時 令和６年２月２１日（水） 午前１０時から午後０時２０分まで

場 所 市役所防災会議室

出席委員 大束委員、川那辺委員、里内委員、津田（昌）委員、中井（英）委員、中川委員、服部委員、本山委員

欠席委員 佐々木委員、田口委員、津田（章）委員、金山委員

事務局 森野次長、大隅課長、貝増係長、社納事務員

傍聴者 なし

会議次第

議題

- (1) 令和５年度男女共同参画事業の実施状況について
 - ・各種研修会等の開催結果について
 - ・女性・男性の悩み相談について
- (2) 守山市男女共同参画事業（令和５年度報告、令和６年度計画）について
- (3) 第４次男女共同参画計画市民調査（中間改定）について
- (4) その他（報告）

会議要旨

内容	議事内容
１ 開 会	大隅課長
２ あいさつ	森野次長
３ 議 事	大束会長

議事内容

発言者	議事内容
事務局	１（１） 令和５年度男女共同参画事業の実施状況について （各種研修会等の開催結果について） 資料１に基づき説明
委員	男女共同参画社会づくり地域研修会の参加者は、昨年度より増えているのか。
事務局	コロナ禍も明け、昨年度より全体的な参加者は増えております。 ただ、参加者が固定化しておりますので、今後も、市からも講師やテーマの紹介や情報提供を積極的に行い、より多くの方が参加できるように検討します。
委員	子育てパパ向け家事・育児応援講座は延べ134名で多くの方が参加されておりますが、やはり継続の参加者が多いのですか。
事務局	数値までは、掴んでおりません。しかし、アンケート結果では、「毎年参加させていただいております。」や「来年も参加したいです。」というご感想が多かったので、満足度は高い講座になったと考えます。
委員	今のマジックパパの講座の件ですが、定員は30組ということですか。定員は設けておられるのですか。
事務局	昨年度が各回20組でして、お申込み大変たくさんありましたので、去年も抽選になりまして、今年度はより多くの参加がしていただけるように、各回30組に増やしました。
委員	子育てママの再就職応援セミナーは、経年的にされておりますが、その見直しの観点からみると、再就職や起業など追跡調査をすることも必要なのではないかと思いますが、その点いかがですか。
事務局	来年度は研修会が終わってから交流会を開催する予定で、そこで、受講者同士で情報交換や意見交換など自由な交流の場を作りたいと考えます。
委員	子育てママの再就職応援セミナーの開催日を昨年度と変えられたと思うのですが、そのあたりの影響はどうですか。
事務局	昨年度は12月中旬と、ご家庭等多忙な時期で、求人も少ない時期であったため、参加者が少ないと思われましたので、今年度は、10月に開催し

	ました。参加者は若干増えましたが、参加者としては決して多くはなかったと認識しております。 今後は、さらに参加者が増えるように検討したい。
委員	さきほどの子育てママの再就職応援セミナーの件ですが、より効果的なセミナーにするには、市商工観光課でも、就労相談を行っているので、市役所内で行っている相談とタイアップしてもよいのではないかと。
事務局	今後、本課だけでなく、就労に関係する相談を行っている部署もありますので、より効果的なセミナーになるよう、今後検討していきたい。
委員	子育てママの再就職応援セミナーですが、今年度第1回目は、会場開催で、第2、3回目はZOOMのオンライン開催ですが、全ての講座を、オンライン開催と会場開催の両方で行ったらどうか。
事務局	今後の開催方法の件ですが、両方の手法での開催は、機能的には可能です。そのメリットもあるかと思いますので、今後、講師と交渉するなかで、検討したい。
会長	守山市で、各学区の地域で、男女共同参画社会づくり研修会を開催されていることは素晴らしい。地域でこの研修会を開催されている中で、地域の中で、女性リーダーを担ってもらえる方を育てるとか、見出すことも重要な目標かなと思う。 例えば、女性のリーダーのロールモデルのような方を研修会に来ていただいて話してもらうことも意義あることだと思う。 また、防災について言えば、女性目線の防災活動は当然のこと、実際の避難所運営で携わっている女性からの講演をしていただくことも、災害対応においても大切なことだと思う。
事務局	研修会について、各学区で行いたいテーマもあるかと思うので、まずは、学区の自主性を第一にしたい。しかし、委員がおっしゃった女性のリーダーのロールモデルに研修していただくことで、地域での女性リーダーを発掘することは重要なことでもあるため、来年度、各学区にテーマの一つの案として、提案は行いたい。 防災についても、今後は、避難所運営における女性の参画を進める必要性もあるので、検討をしたい。
委員	私は、女性ですが、自治会長を4年していた。そのとき子ども会と自治会がバラバラで活動していたが、一緒になってやったほうが、良い事業ができると思って、必ず子ども会の役員の一定数を自治会の会議に出席してもらうようにして、自治会の仕事を知っていただくことを始めた。

	そうすると、徐々に女性の自治会の役員が増えてきた。そうすると、役員の中でも、役職者は男性ばかりであったのが、女性を必ず1名は入れようという話になり、徐々に女性の役職のある自治会役員を増えた。 そういう経緯の中で、女性の私に自治会長しないかという話になり、男性の役員の協力も得ながら、私が、女性で、自治会長を任されたという経験があります。
会長	このような委員が女性のロールモデルである。各自治会でこのような動きがあるという事例が、地域同士で共有されていない感じがある。地域にこのような方がいるという情報を共有し、ぜひ女性リーダーの機運を地域から盛り上げてほしい。
事務局	1 (2) 令和5年度男女共同参画事業の実施状況について (女性・男性の悩み相談について) 資料1に基づき説明
会長	男性の悩み相談が減少しているということですが、広報についてはどうされているのか。
事務局	市広報においては、毎月1日号に開催日と開催場所を他の庁内の相談と同じく掲載している。また、毎年11月1日号には、「女性・男性の悩み相談」というページを設け、相談員の顔写真や相談方法等を掲載して周知している。また、市HP等や、各医療機関にも、「女性・男性の悩み相談」の周知カードや性暴力等の啓発チラシも合わせて設置してもらっている。
委員	この相談は、予約制ですか。
事務局	予約制で、開催日は、1日一人1時間で3枠です。
委員	相談に来て、答えが出なかったら、専門の他の関係機関に紹介されたりしていますか。
事務局	再訪される方もいますし、法律が関係する相談でしたら、法テラス等、専門家がいらっしゃる機関を紹介するなどしております。 DVなどなら、市役所を担当課に相談内容を、本人ご了解の上で、繋いだりもさせていただいております。
会長	一般的に男性は、なかなか他人に悩みを打ち明けない傾向がある。例えば夫婦関係で悩んでいても相談に結びついていない可能性がある。よって、そのハードルを乗り越えるために何が必要か考える必要があると思う。例えば、他の事業で男性に対して、男性も悩みを抱えますので、気軽

	に相談してくださいというメッセージを継続して伝えていくことも重要であると思います。また、他にはやはり、広報が足りないかもしれません。市広報や、医療機関で周知されているとのことでしたが、もっと市民の目に留まりやすい例えば、コンビニにチラシを設置するとか、市役所でも、目につくところに、情報を載せるなど、とにかく目につきやすいところで広報するのが大切かと思います。
事務局	庁内では、あまり、チラシを設置するスペースはないのですが、可能かどうかは、検討したい。また、医療機関以外にもコンビニにチラシを設置する案なども、今後可能かどうかを含め検討したい。
委員	女性・男性の悩み相談ですが、性同一性障害などで悩まれている方はどこに相談すべきか家族にさえ打ち明けられないというのが現状です。心の悩みをおられるそういう方にも相談にきてもらいやすいPRや、人の目を気にされる方にも、情報を手に取ってもらえる、チラシ等の場所の設置を検討いただきたい。
事務局	先ほどの会長のご意見と併せて、さまざまな状況の方を視野に入れ、今後相談事業と広報を検討したい。
事務局	(2) 守山市男女共同参画事業（令和5年度報告、令和6年度計画）について 資料2に基づき説明
会長	企業訪問による調査ということで説明がありましたが、男性の障害者雇用の推進状況について調査されたとのことですが、どういう結果であったのか、分かれば説明いただけますか。
事務局	企業訪問による調査は、「商工観光課」が行っておりますので、結果までは承知しておりません。必要であれば、結果を担当課に確認します。
委員	子育てパパ向け家事・育児応援講座について、第1回目は抽選とのことでしたが、キャンセル待ちの対応は取られてなかったのですか。
事務局	キャンセル待ちはなく、1回目の申込者が定員を超過したので、超過した方には、2回目や3回目の案内をしています。
会長	子育てパパ向け家事・育児応援講座について、開催時間ですが、午前と午後で参加対象が異なっているのですが、小学生も、休日午後は時間が取りにくいと思うのですが、開催時間は変更されたりしないのですか。
事務局	まず、1日で3回の講座を連続でしますが、未就学児は、午後にすると、

	講座に集中できなくなるお子さんが多いので、昨年度より開催時間を早め、午前中にできるだけ終わるように変更しました。3回目の小学生対象については、1日で3回連続講座なので、どうしても、午後からの開催になりますが、そこは、来年度も変更はしない予定です。来年度は、受講者からのご意見もあり、さらに1回目の開始時間を少し早めようと考えています。
会長	子育てパパ向け家事・育児応援講座についてですが、開催結果の資料で、1、2回目の未就学児をお持ちの親と3回目の小学生をお持ちの親で何か傾向が違ってくるのか分析されていますか。
事務局	今回の講座では、未就学児と小学生をお持ちで各々の回を複数参加された親も多くいらっしゃいまして、ご質問のような分析が正確にはできないため、行っておりません。
委員	子育てパパ向け家事・育児応援講座についてですが、対象が設けられています。未就学児でも小学生の講座に参加できますか。
事務局	申込状況にもよりますが、希望される方には、ご希望の回に参加いただけるように柔軟に対応しています。
委員	学区別人権学習会の話ですが、毎年、行政から各自治会に人権学習会を開催お願いしますとの説明があり、年2回を基本に実施してくださいとの説明があります。 自治会も毎年、2回の人権学習会を企画するのは、テーマを探すところから始まり、大変負担があります。 したがって、男女共同参画に関していえば、学区毎に、男女共同参加社会づくり研修会を実施されているわけですから、例えば、先ほど話が出た、「女性リーダーのロールモデル」などで研修されるのなら、そのような情報を自治会にも提供していただきたい。
事務局	自治会の人権学習会は、第一義的には、各々の自治会で主体的に自治会が考える課題を学習していく機会を設け、実施していくものです。 しかし、自治会別人権学習会の説明の際に、今年は、このテーマをぜひ取り上げてくださいますとアナウンスはできますので、その時期が来ましたら、適宜情報提供等を行いたいと思います。
委員	男女共同参加社会づくり研修会ですが、参加人数は分かりましたが、参加者の男性と女性の割合や、年齢層が分かればよいと思います。やはり、男性女性もあまり偏りなく、年齢も高齢者ばかりではなく、多くの世代が参加された方が、交流などもありますので、よいと思います。

事務局	より研修会をよいものにするためには、参加者の属性の把握は必要だと思います。 現状、学区によって、把握できているところもあれば、できていないところもありますので、今後、性別や、年代等も把握できるようにしたいと考えます。
会長	男女共同参加社会づくり研修会ですが、参加者は、学区外の方が参加されることはあるのでしょうか。
事務局	学区の研修会なので、基本的には、学区の方の学習会の場になっています。
委員	参加者は自治会役員とか、団体等の役員だけが参加している状況なのか。
事務局	学区では、公民館だよりなど、全戸配布されているので、広報はされていると思います。ですので、全学区民が情報は見ていただける状況にはあるかと思います。よって、学区民は誰でも参加できます。
委員	私は自治会の役員をやっております。さきほど事務局から説明がありましたが、参加者は、やはり自治会等の役員がほとんどという実態であります。 年代も、若くて50代の方ですし、高齢者が多いのが現状です。
委員	確かに、研修会には、参加者でも高齢者の男性が多いです。しかし、男女共同参画について言えば、傾向的に高齢者の男性の方が、男性優位の社会で生きてこられ、そういう意識を持った方が多い傾向があるので、良い面はあるかと思います。
会長	地域ごとに、地域の実情が違うことがありますので、地域ごとにどういうことを目標にするのかというところを明確にさせていただき、その上で、目標に対し、こうした方針で研修をお願いしたいというビジョンが重要だと思います。 研修会の中で、話し合いの場を持つことも地域の実情に合わせて行っていくことも一つかと思います。 講演をするのであれば、地域の実情と目標や、課題を整理していただいた上で、講師にそのあたりの地域の状況を踏まえ講演いただくことで、より効果的な研修会になると思います。
委員	男女共同参画を考える上の前提で、日本は少子化の時代を迎え、経済活

	動もますます縮小していく時代を迎えている。 かつては、女性は、20代後半で子育てか仕事を選ぶ世の中で、結婚を機に仕事を辞める風潮であった。 いまの時代は、子育てか、仕事を選ぶのはおかしい問題である。 子育てママの再就職応援セミナーも、必要なセミナーではありますが、労働者側からの施策だけではなく、企業側に向けても働きかけながら、こどもも産み育てやすい制度や、体制を設けてもらうことが根本的な問題であるかなと考えます。育児休暇という制度もまず行政から企業側に働きかけていくのが大事ではないかと思う。
事務局	企業側への働きかけが重要であることは認識しております。来年度ですが、新規事業として、女性活躍を推進する内容の研修会を予定しています。 予定では、市の他部署等と共催して、企業の代表者を対象に企業代表者向けのセミナーで、採用面、雇用面など女性が働きやすい職場づくりに実践され、実績がある企業代表者による講演会を行い、企業代表者の意識改革の一助になることを目標として開催する予定です。
会長	やはり企業が変わらないと、働いている側は変われない側面がありますので、この事業をどうやっていくのかということを次回の審議会で、委員からご意見をいただいて、実施していただきたいと思います。 また、「取るだけ育休」ということも、問題になっていますので、男性も育休を取るが何をしてよいかわからない、取られた企業側もどうしたらよいかわからないようなこともありますので、男性の育児休業も今後重要な課題に、社会全体でなってくるので、取り組んでいく必要があるかと思います。
事務局	男性の育休取得の推進は、国が進めて、企業も取り組み始めています。 しかし、実際、休暇を取ったものの、どうしてよいかわからないなどの問題もあります。したがって、男性の育児休暇をテーマに、休暇を取った側も、休暇を与えた企業側も、社会がうまくかみ合うような提案を与えられるような講座も必要かと思いますので、今後、情勢を見ていきたいと思っています。
委員	企業の保育園併設とか聞くが、守山市では、まだないのですか。
事務局	市内でも事業所内保育所は数か所あります。
事務局	(3) 第4次男女共同参画計画市民調査（中間改定）について 資料3に基づき説明
会長	困難な問題を抱える女性への支援に関する法律について、第4次男女共

	同参画計画に包含することは承知しておりますが、これに関する設問については、国、県、他市町との整合性という観点で修正してはいけないものなのでしょうか。
事務局	ここについては、こども家庭相談課が、設問の案を作成しておりますので、修正は可能かと思われます。担当課に確認します。
会長	この法律は「困難な問題」という内容がポイントかと思われます。何が困難な問題かは、人によってとらえ方にかなり開きがありますので、設問中の「困難な問題」をわかりやすい表現に変えていただくか、注釈を付けていただけたらと思います。
委員	調査票ですが、見た目のことですが、選択肢がたくさんあり、選択肢を数字で選ばせるという形になっていて、すごく数字が多くて、見にくいので、丸や四角にするとか、調査票全体が回答しやすいようになるように工夫した方がよいかと思います。
会長	確かにおっしゃるとおりですが、他市や他課の調査をまた参考にしていただけたらと思いますが、数字やアルファベットで表記して丸をさせる形は、集計のしやすさだと思います。 ただ、それは、集計する側の考えでそうしているだけであって、数字などに一つ一つ丸をしない方が回答しやすく、回答率が上がると考えられるのであれば、検討をしていただけたらと思います。
委員	設問24については、選択肢2が県の女性相談窓口（婦人相談所）というように案ではなっているが、法律が施行された後に送付するので、「女性相談支援センター」ではないのですか。あと、「女性自立支援施設」も追加する必要があるのではないか。
事務局	「女性相談支援センター」と「女性自立支援施設」に名称も変わりますので、これらに修正します。この設問の担当課にもこの点確認をします。
委員	また、選択肢ですが、相談機関をいろいろ列記していますが、市役所内であれば、「生活支援相談課」でも経済的な相談を受けておられるし、「商工観光課」でも就労相談をされている。また、市社会福祉協議会でも相談を受けておりますので、この辺り、追加するなど整理をしてほしい。
事務局	庁内で相談業務をされているところの整理と、庁外の相談機関等、漏れないよう再度整理させていただきます。
委員	問28の設問ですが、まだ、司法で争訟中であるが、長年、論議されてき

事務局	ていることなので、「選択的夫婦別姓制度」を加えてほしいと思います。 検討します。
委員	意識調査の回答期間はどれくらいですか。
事務局	前回の意識調査と同じくらいで考えております。3、4週間で考えています。
委員	意識調査の回答率を上げるには、途中で催促状のようなものを送る方法もあると思いますがいかがですか。
事務局	お礼状兼催促状のようなものを送られている市町もあります。本市も検討はしましたが、さまざまな面で、その方法はずらず、違う方法で回答率が上がる方法を考えております。 次回の審議会では、実際どのような形で調査を行うのか、ご報告させていただきます。 4 その他について（報告） ・子育てママの再就職応援セミナーの開催結果について ・マジックパパのふしぎあそびの開催結果について ・図で見る滋賀の男女共同参画推進状況 ・守山市男女共同参画審議会委員の改選について 意見なし